

**第4回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会
議事概要**

1 日 時 平成30年10月5日(金)午前10時～午後11時40分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 会議室3-2

3 参加者

委 員	足立和義委員（福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長） 足立政人委員（福知山商店街連盟 会長） 井上敬規委員（プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役） 榎原傑委員（元京都北都信用金庫 常務理事） 梶村誠悟委員（福知山商工会議所 専務理事） 杉岡秀紀委員（福知山公立大学 准教授） 吉見美晴委員（京都府行政書士会 常任理事） 赤井貴恵委員（市民公募） 本多洋子委員（市民公募）
事務局 (福知山市)	大西担当課長、渡邊係長、伊庭主事、谷主事

4 会議概要

次 第	内 容
開会挨拶	杉岡委員長
協 議	1 加悦SL広場視察報告・前回会議の振り返り <u>主な意見</u> ○完全民営施設となると、文化的に価値がある展示物だとしても、選択と集中の中で、十分な保全が行われない可能性も懸念される。 ○ガイドがあるのとないのとでは満足度が異なり、教育旅行という点においてもガイドが必要である。 2 ポッポランドのあり方協議 <u>主な意見</u> ○目的をコンテンツに落とし込む上で「見る・学ぶ」「遊ぶ・楽しむ」「癒される」の3つのキーワードを定めてはどうか。 ○「見る・学ぶ」においては、国鉄OBの方の語りの保存やジオラマ模型作成ワークショップなどを実施してはどうか。 ○「遊ぶ・楽しむ」においては、プラレールやバッテリーカーの設置、ガチャガチャ、コスプレコーナーの設置などのほか、ミニSL用の線路の

	<p>常設や、鉄道マニアへの写真展時スペースレンタルなどを実施してはどうか。</p> <p>○「癒される」においては、飲食などができるフリースペースが必要。調理機能がなくとも、パンやクッキーなどを作られている事業者へのスペースレンタルなどを実施してはどうか。</p> <p>○場所については、中心市街地に拘らない。また、1つではなく、鉄道マニア向けや子供向けなど機能を分けて、3号館・4号館という分散型施設にしてもよいのではないか。</p> <p>○丹波生活衣館に移設するというのは違和感がある。1つの施設に2つのミッションをさせられるのかということは、今後、視察等で運営者から話も聞いて検討すべきである。</p>
<p>その他</p>	<p>(1) 視察</p> <p>○日時 平成30年10月25日(木)午後1時から午後4時まで(予定)</p> <p>○場所 市内施設</p> <p>(2) 次回検討委員会</p> <p>○平成30年11月9日(金)午前9時～午後0時(終了予定)</p>